

みらい図書だより

発行：東京未来大学図書館

〒120-0023 東京都足立区千住曙町 34-12 TEL：03-5813-2540 (内線 1202) FAX：03-5813-2529
URL：http://www.tokyoumirai.ac.jp//library/ 印刷：上武印刷株式会社

図書館と私

エンrollment・マネジメント局教育課長 萩元 智子

15年前、東京未来大学開学時は、図書館の隣にEM室がありました。開学時、通学課程一期生の入学者数は、114名でした。堀切の体育館で入学式を行った日を、いまでも鮮明に覚えています。通学課程のCAは私を入れて3人。通信教育課程のCAと同じEM室におり、少ない職員人数で業務を行っていました。旧EM室の奥には図書館に続く扉があり、図書館職員が手薄な時は、私も図書の貸し出しや返却対応を行っていました。そのため、よく図書館とEM室を行き来していました。

本学の図書館は、雰囲気がとても良いと感じています。真ん中にある木々の緑、暖色のライト、座り心地のよい椅子、オシャレな雰囲気に、当時は、「学生がもっと利用すればいいのになぁ」「勉強したらいいのになぁ」と感じていました。一期生はこの素敵な図書館を自分たち中心で使用できて、幸せ者だったと思います。次の年には、二期生が263名入学し、大学構内が一気に賑わい、図書館で学生を見かけることも増えていきました。

私自身は、家の近くに市立の図書館があったこともあり、幼稚園、小学生の頃から、よく利用していました。特に、夏休みの読

書感想文や読書感想画を書くために、ピピッと来る本を選びに通っていたことを覚えています。中学生からは、図書館の中にある自習室を利用することが増えました。独特のヒヤリとする空気感の図書館に入り、静かな自習室の中、一人一人分かれた机で勉強をすることが好きで、17時の閉館時間までめいっぱい利用していました。

高校時代は、高校の中にある図書室と、高校の近くにある茨城県立図書館を利用していました。やはり図書館で勉強するのが好きな性分だったようで、よく勉強をしていました。大学時代から、図書館の利用の仕方が変わったように思います。まだインターネットが十分に普及していなかったこともあり、調べ物があると図書館で情報収集するために文献を探しに行きました。図書館外持ち出し不可の書籍を閲覧しに行くときの、あの緊張感を今でも思い出します。

図書館の利用目的は、人それぞれだと思いますが、私にとって大切な居場所だったように、それぞれの居場所になる大切な場所だと感じています。



ステイホームと本

モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科 学科長補佐 磯 友輝子

東京で4度目の緊急事態宣言下、東京オリンピック・パラリンピックが開幕しました。仕事の合間にテレビの前に座れば、各国の選手たちがタイムや力を競い、美しい演技で競演する姿をオンタイムで見られ、ステイホームにちょっとしたありがたみを感じたのは私だけではないでしょう。

オリンピックでは日本人選手の目覚ましい活躍に沸きました。私が興味深く感じたのは試合後のインタビューで「楽しかった」と話す選手が多かった点です。スケートボード女子パークの四十住さくら選手は、金メダル獲得の翌日に「スケートボードは楽しいので、今日はまだ滑っていないから早く滑りたい」と述べ、私までワクワク。一方、思うような順位ではなかった選手が、楽しさと周囲への感謝とともに悔しさを次につなげる言葉を述べる姿を見て、テレビの前の私も涙しました。

さて、このままだと「ステイホームと東京2020観戦」になってしまうので、「ステイホームと本」に戻しましょう。選手が競技そのものを「楽しむ」ことは、練習を継続させる重要な要素です。また、周囲の支えや言葉がけもモチベーションを高める一因になりえますが、選手はそれをどのように受け止めているのでしょうか。そして、選手のインタビューに表れる力強い言葉はど

のように生まれたのでしょうか。

その一端を知ることができるのが「Powerフレーズ—Only oneを支える言葉」（日本テレビ「POWERフレーズ」編、世界文化社、2018年）です。この本は、トップアスリートを支える言葉を紹介した番組「POWERフレーズ」（日本テレビ、2015年10月—2021年3月放送）の内容に、角山剛学長が心理学の視点から解説を加えたものです。たとえば、今大会のアーチェリー男子団体、個人の両方で銅メダルを獲得した古川高晴選手は、高校時代の恩師の言葉「止まない雨はない」を前向きに、かつ積極的に捉えて、大敗の悔しさを練習の継続によって乗り越えたそうです。このエピソードに関連づけ、スポーツや勉強などで一時的に成績が頭打ちになる高原現象について解説がなされています。なるほど、勉強になります。

コロナ禍という未曾有の事態。仕事、学習や実習、就職活動を行うなかで、様々な困難を経験した人も多いと思います。挫けそうなとき、トップアスリートから発せられた言葉や彼らを支えた言葉を思い出すことで、一歩前に踏み出す勇気を得られるかもしれませんよ。

絵本あわせ

子どものころ好きだった絵本

心理専攻3年 神田 璃乃

私が、子どものころ好きだった絵本は、『ますだくんのランドセル』です。図書室に行くたびに読んでいました。はじめは個性的な絵に惹かれてこの絵本を手に取りました。ますだくんのお姉ちゃんお兄ちゃんのランドセルに憧れており、入学前にお姉ちゃんの赤色のランドセルをもらい、そのランドセルで小学校に通うことにします。すると入学式で親が選んだ青色のランドセルを背負ったみほちゃんとお会いします。みほちゃんは、周りの子に「女の子なのに青色のランドセル」と言われてとても悲しく泣いていました。けんいち君はそんなみほちゃんを見つけ、一緒に教室に行ったり赤色のランドセルを背負わしたりして入学式の日から友達をつくることのできるというお話です。



『ますだくんのランドセル』
（作・絵：武田美穂、ポプラ社、1995）

この絵本は、けんいち君がやんちゃんながらも優しい心をもっておりほっこりできるお話です。また、私はこの絵本を読んで、女の子だから男の子だからというような考えをしてはいけないと学んだ絵本でもあります。

今でもこの絵本を見かけると懐かしく読みたくなります。読みやすいので今の子どもたちにも読んでもらいたい絵本です。

実習で使った絵本『へんしんマラソン』

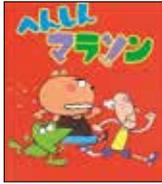
こども保育教育専攻4年 瀧本 和花

私は実習で『へんしんマラソン』という絵本の話をとくさん活用してきました。

この絵本は言葉遊びを題材にしています。例えば「グコッグコッ」とカエルの鳴き声を言い続けると「コッグコッグ…（焦げ焦げ）」と変化する言葉遊びです。

このように同じ言葉でも言い続けているとイントネーションの位置が変わり違う意味の言葉に変身するという内容の絵本で、『へんしんマラソン』では登場する物がマラソンをしながら言葉に合わせて変身していきます。

私はこの絵本の言葉の変化と共に絵が切り替わっていく様子を子どもにわかりやすく伝えるため、紙皿シアターにして読み聞かせをしました。



『へんしんマラソン』
（作・絵：あきやまただし、金の星社、2005）



実際に幼稚園、保育園の様々な年齢の子ども前で使いました。年齢によって様々な反応がありました。2歳児は言葉が変化していくことに気づいている子、気づいていない子がいましたが、みんな笑いながら楽しんでくれました。また5歳児は紙皿の切り替わる仕組みにも注目して自由遊びの時間に自分たちで紙皿シアターを作るという遊び方にも発展しました。

一つの絵本の内容でも表現の仕方幅広い子どもと楽しめるのと、反応の違いを見て発達に合わせた遊びについて考えるきっかけにもなりました。

私のお気に入りの絵本

モチベーション行動科学部3年 長谷川 杏花

私がお気に入りの本は、『泣いた赤おに』という絵本です。簡単に内容を説明すると、赤鬼は優しい性格で人間と仲良くなりたいたいと思っていました。しかし、人間は赤鬼を怖がってしまいます。そんな時に仲間の青鬼が、人間からの信頼を得るために自分が犠牲になってわざと悪さをします。青鬼を懲らしめる形となった赤鬼は、優しい性格だと人間に理解してもらえました。赤鬼はたくさん人間と仲良くなり楽しい日々を送っていましたが、青鬼に全く会っていないことに気が付きました。そこで青鬼の住処に行ったところ赤鬼に向けての手紙が家の戸に貼ってありました。その手紙には、赤鬼を応援するメッセージと自分は長い旅に出るという内容でした。その手紙を読んで赤鬼は涙するという本です。

私はこの本を読んで自分のことを犠牲にしてまで仲間を思う青鬼の心にとっても心を打たれました。人間から嫌われる役という本来ならやりたくないことを自らやるのはなかなかできないことだと思います。それでも青鬼は赤鬼が人間からの信頼を得るために嫌われ役となりました。その姿は私たち人間から見ても尊敬すべき姿だなと思いました。無償の愛の美しさが描かれたお勤めの一冊です。

子育てと絵本『うどんのうーやん』

エンロールメント・マネジメント局 谷口 来夢

「今日はこれ！」3歳の息子は、毎日寝る前に1冊絵本を選び、駆け足で私のところへ持ってきます。歯磨きをして、絵本を読んで、消灯。これが息子の入眠儀式です。そのセレクトは実に様々。気に入った絵本を1週間続けて読みたがることもあれば、分厚い図鑑を持ってきて、なかなか電気を消せないこともしばしば…（笑）。

絵本は、息子が生まれて間もなくのころから、現在に至るまで、親子のコミュニケーションをより楽しくしてくれるアイテムです。眠りにつく前のリラックスタイムに、読んだ絵本の感想を言

おすすめの1冊

「これはぜひ！」先生方おすすめの1冊を紹介します。

● 日向野智子先生（こども心理学部心理専攻）

『ゲド戦記 I 影との戦い～Vアースシーの風』

ル＝グウィン／清水真砂子訳、岩波書店（2006）

同名アニメ映画（注：原作とは入りから違います）が公開された夏、様々な葛藤を抱えていたころでした。現実の自分とはまったくかけ離れた物語に没頭したいと思い、巡り合った世界三大ファンタジーの一つです。大魔法使いグドの少年期から晩年をとおして、光と影、生と死、栄光と衰退など、相対する運命と遠い世界の時の移り変わりにさまざま思いを巡らせたものです。空想の世界に浸りつつ、静かな心の機微にふれたい方におすすめします。



● 金 瑛珠先生（こども心理学部こども保育教育専攻）

『新版 愛育の庭から 子どもと歩み学ぶ日々』

津守眞、愛育学園（2021）

本学の図書館には、書店では購入できない素敵な本が所蔵されています。2021年5月に大学に送っていただいた一冊です。保育・教育を学んでいる学生にとって、お名前はよく知っているはずの津守先生が、愛育養護学校（現在でいう特別支援学校）の幼稚園・小学部の子どもたちとの日常を綴られた一冊であり、津守先生の温かい眼差しに触れることができ、一人ひとりが自分を見つめ直すことができる一冊になるでしょう。ぜひ、将来、保育・教育に携わる人は、在学中に読んでみてください。

ご縁があり、私の研究室には十数年前から置かれている本ですが、今でも保育を考える上で、“原点”に立ち返ることができる本として、時々、じっくり読んでいる、私にとって大切な一冊です。

い合ったり、次のお休みには絵本で見た動物を見に行こうねと約束をしたり。私にとっても、大切な時間です。

お気に入りの1冊は、関西出身の友人がプレゼントしてくれた『うどんのうーやん』。主人公は関西弁で喋るうどん。自ら出前に行くその道中で、様々な出会いと試練があります。突っ込みどころ満載でシュールな世界観も、絵本ならではの、そして、力強いタッチの絵にも、衝撃的な展開にも、息子は終始大笑い！

いつか息子が一人で読書をするようになるまで、この愛しい時間を大切にしたいと思います。

著者に
聞いてみました。

新刊紹介

2021

西村 実穂先生 (こども心理学部こども保育教育専攻)

『誰にも聞けなかった！保育者のいろいろお悩み相談』

【共著】(中央法規出版、2021)

問1 本のコンセプトは何でしょうか？

タイトルのとおり「誰にも聞けなかった」けれど、保育現場で保育者が対応に迷うケースへの解決策を示すことを目的としています。子どもの病気や障害、ひとり親家庭、離婚や再婚、外国にルーツを持つ子どもや保護者への対応、子どもの保護者が病気であるケースなど分野を超えた問題をまとめた書籍です。

問2 学生に読んでほしい点は何でしょうか？

Q&A形式で問題に答える形をとっています。イラストが多く、読みやすいはず！です。目次を見てもらって、気になるところから読み進めてもらい、保育の場にいる様々な子どもへの対応について深く考えるきっかけづくりになれば幸いです。

執行 智子先生 (こども心理学部こども保育教育専攻)

『小学校英語に児童文学を』【共著】(春風社、2021)

問1 本のコンセプトは何でしょうか？

早期英語教育における子どものことばの学びのkeywordsである「コンテクスト」「遊び」「楽しむ」を網羅する英語の児童文学を、教師自身が、また教室でどのように楽しみ味わうかを紹介した本です。

問2 学生に読んでほしい点は何でしょうか？

小学校でどのように英語の児童文学を使用するかを考える前に、それらの作品の著者や作品の背景、そこに使用されていることば(英語)の特性などに注目し、自ら触れ、感じ、楽しみながら読む経験をしてください。

鈴木 公啓先生 (こども心理学部心理専攻)

『やさしく学べる心理統計法入門 増補版：こころのデータ理解への扉その2』(ナカニシヤ出版、2021)

問1 本のコンセプトは何でしょうか？

とにかく従来のテキストに比べてわかりやすい内容であることです。その際、大事なところをもらさず、そして、誤解の無いように記述しています。他のテキストと読み比べて見ると、本書の特徴がよく理解できると思います。

問2 学生に読んでほしい点は何でしょうか？

すべてとしか言いようが無いです。テキストは、伝えたいことを厳選してまとめているものです。どこが大事なのですかと問われることがありますが、おそらくテキストの執筆者のほとんどは「すべて」と答えるのではないのでしょうか。すべてが、皆さんに知ってほしい、理解してほしい内容です。

磯 友輝子先生 (モチベーション行動科学部)

『Before/Withコロナに生きる社会をみつめる』

【共著】(ロギカ書房、2021)

問1 本のコンセプトは何でしょうか？

心理学、医学、少子化対策、都市計画、不動産など様々な分野の専門家がBefore/Withコロナへの考えを述べた書籍です。COVID-19による人や企業、不動産等への影響やこれからの都市・街づくりへの提言が示されています。

問2 学生に読んでほしい点は何でしょうか？

私は第1章「新しい対人コミュニケーションの形の模索」を担当しました。三密回避がもたらした人との関わり方の変化と、元来、対人コミュニケーションが持つ対応力、他者のサポートの重要性を説明しています。Withコロナでの自らのコミュニケーションのあり方について考えてもらいたいです。

受賞のお知らせ

昨年の『みらい図書だより』の「執筆のあれこれ」でご紹介させていただいた、藤後悦子先生・井梅由美子先生・大橋恵先生の『スポーツで生き生き子育て&親育ち～子どもの豊かな未来をつくる親子関係～』が、こども環境学会2020年度「こども環境論文・著作奨励賞」を受賞しました。

「単にスポーツ活動のみならず、これからの地域社会づくりや子どもの発達に深く関わる教育的、心理的知見が、著者たちの学問的バックグラウンドに支えられて豊富に紹介される上では、欠かすことのできない著作である」(高橋勝『子ども環境学研究』17巻1号、p.46、2021)と評価されました。

本学図書館でも所蔵しております(請求記号：K379.9/TO)。まだお読みでない方は、ぜひ手に取ってみてください。



●田澤 佳昭先生 (モチベーション行動科学部)

『なぜリーダーはウソをつくの?』

J.J.ミアシャイマー／奥山真司訳、中公文庫 (2017)

国際政治でリーダーが使う7つのウソのうち、「国益になる」という正統性から語られる5つの「戦略的なウソ」について、国際政治学者が説明した本です。アフガニスタンでは米軍の撤退開始後、タリバンによる政権が戻り、子どもを含む民間人にも戦闘による犠牲者が出たと連日報道されています。リーダーたちの様々なウソにも目を向けてみましょう。

第二次世界大戦後も争いに明け暮れる大人たちをみたE. ケストナーは、動物たちが人間に代わり「子どもたちのために！」という横断幕を掲げて平和のための会議を開く物語『動物会議』(大型絵本、岩波書店、1999年)を1949年に著しました。我々も子どもたちのために何ができるか考えたいですね。

●小島 唯先生 (エンロールメント・マネジメント局)

『未来への授業』和田孫博、新星出版社 (2021)

難関学校である灘中学校(高等学校)の校長先生が書かれた本です。よく学生との面談で「このプロジェクトに意味はあるのか」等の否定的な言葉を聞く時があり、その返しに時々迷うことがあります。この本はどうして勉強しないといけないのか、チームビルディングの大切さについて将来どのような利点があるということを含めて、分かりやすく説明しています。将来、後輩ができた児童や幼児に「なぜ？」を聞かれることがあると思います。その時にちゃんとした答えを返せるように読んでみてはいかがでしょうか？コラムになっているので、読みやすさも抜群です。



👑 電子書籍アクセスランキング (2021/1/1 ~ 8/31)

| 順位 | 書名／著者名、出版社、出版年 | 登録番号 |
|----|--------------------------------------------------------|-----------|
| 1位 | 多文化社会オーストラリアの言語教育政策／松田陽子著、ひつじ書房、2009 | e00000099 |
| 1位 | 事典外国人の見た日本／富田仁編、日外アソシエーツ、1992 | e00000127 |
| 1位 | 教育心理学の最前線／斎藤富由起 守谷賢二編著、八千代出版、2019 | e00000333 |
| 4位 | 昭和史 戦後篇 1945-1989／半藤一利著、平凡社、2009 | e00000030 |
| 4位 | 新錯視図鑑 一脳がだまされる奇妙な世界を楽しむ・解き明かす・つくりだすー／杉原厚吉著、誠文堂新光社、2018 | e00000267 |

👑 図書貸し出しランキング (2021/1/1 ~ 8/31)

| 順位 | 書名／著者名、出版社、出版年 | 請求記号 |
|----|--------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1位 | 恋ごころの科学 セレクション社会心理学／松井豊著、サイエンス社、1993 | 361.4/SE/12 |
| 2位 | インターネット心理学のフロンティア 個人・集団・社会／三浦麻子 森尾博昭 川浦康至編著、誠信書房、2009 | 361.4/MI |
| 3位 | 10代のぜんぶ／中村恭子 原田曜平著、ポプラ社、2005 | 367.68/NA |
| 3位 | いま、地方で生きるということ／西村佳哲著、筑摩書房、2019 | 366.29/NI |
| 3位 | 愛情という名の支配：新装版／信田さよ子著、海竜社、2013 | 367.3/NO |
| 3位 | 子どもを愛せなくなる母親の心がわかる本 不思議な「心」のメカニズムが一目でわかる ころライブラリー：イラスト版／大日向雅美監修、講談社、2007 | 367.3/OH |

～請求番号を載せましたので、興味のある方は是非お読みください。～

海外の図書館について

山崎 善弘先生 (モチベーション行動科学部)

海外の図書館と言うと、留学をしたり、海外の大学出身であったりしないと、想像さえしにくいものです。私は日本の大学を卒業し、留学経験もありません。海外の大学自体が遠い存在だったのですが、アメリカのハーバード大学に数度お邪魔する機会を得、かつ同大学から研究員として招聘され、長期間研究に従事する幸運に恵まれたことがあります。

初めてハーバード大学を訪問した際、大学自体の大きさに度肝を抜かれたことを覚えています。さすがに世界のトップ大学だけあって、あらゆる分野で最高の研究・教育が行える諸施設が整っているが故のことです。もちろん、図書館もその一つです。図書館を持たない大学はないでしょうが、ハーバード大学には80を超える図書館が附属しています。その中で一番大きな図書館であれば、本学の本部キャンパスの何倍もの敷地面積となります。そして、私が一番驚き感心したのは、世界中で出版された、ありとあらゆる分野の専門書がほとんど揃っていることでした。私が上梓した日本史の本も所蔵されており、英書とともに、日本語で書かれた日本史の専門書も読みながら、何の不自由もなく研究に専念できたことを思い出します。

さて、写真の図書館は、ハーバード大学法学部附属図書館です。私がハーバード大学訪問中に最もお世話になったのが、こちらの図書館です。法学部の図書館も大きく、内部で迷子になりそうなくらいでした。実はこちらの図書館は日本の江戸時代の古文書を多く所蔵しています。私が招聘していただいた主な



ハーバード大学法学部附属図書館

理由は、これら古文書を分析し、英語で研究成果を世界発信するためでした。

ちなみにハーバード大学は日本の江戸時代から存在する大学で、非常に歴史の長い大学です。日本との交流も古くからあり、日本から古文書が寄贈されたそうです。ハーバード大学のミッションは世界の研究を牽引・発展させていくことにあります。日本史学でさえ、例外ではありません。海外で江戸時代の古文書を分析するという、一風変わった経験をしました。先の大戦で、日本では焼失してしまい、日本に存在しないような古文書も見出すことができ、驚きでした。しかし、何よりの驚きは、館内で研究上のことであっても少し話をするだけで、多くの教員や学生からの視線を集めてしまうことでした。それほど、皆さん真剣に学ばれているということです。学びの拠点としての、あるべき図書館の姿を見たように思ったものです。

編集後記

図書館では、コロナ禍でも皆さんに本がお届けできるよう、電子書籍の充実を図ってまいりました。自宅や自室で過ごす時間が多いこんな時代だからこそ、良い本と出会い、これからの未来に思いを馳せていただけることを願っております。発行にあたり、ご協力をいただきました皆様に御礼申し上げます。

(N & S)